

# LOSA長期保有型国際分散インデックスファンド

愛称: LOSA 投資の王道

追加型投信/内外/資産複合

## 交付運用報告書

第5期(2020年12月7日決算)

作成対象期間(2019年12月6日~2020年12月7日)

### 受益者の皆様へ

平素は「LOSA長期保有型国際分散インデックスファンド」(以下、「当ファンド」という場合があります。)にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第5期決算を行ないました。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界各国の様々な資産に分散投資を行ない、長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なっております。当期につきましても運用の基本方針に沿った運用を行ないました。期中の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

第5期末(2020年12月7日)	
基準価額	12,461円
純資産額	5,274百万円
騰落率	6.8%
分配金合計	0円

(注)騰落率は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算しています。

### アストマックス投信投資顧問株式会社<sup>※</sup>

※2021年3月8日付で商号を「PayPayアセットマネジメント株式会社」に変更する予定です。

東京都千代田区神田錦町一丁目1番地

#### サポートダイヤル

0120-580446

〈受付時間〉営業日の午前9時~午後5時

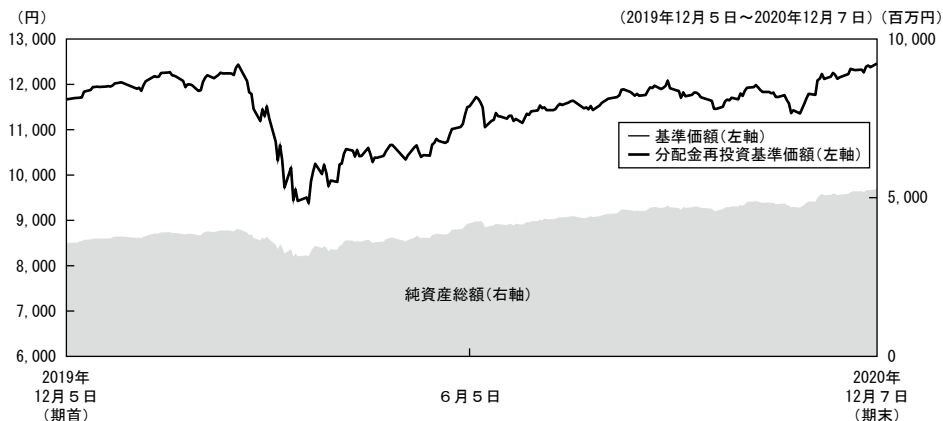
<http://www.astmaxam.com><sup>\*</sup>

※2021年3月8日付でホームページアドレスを  
「<https://www.paypay-am.co.jp>」に変更する予定です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法(投資信託及び投資法人に関する法律第14条第2項に規定する電磁的方法をいいます。)により提供する旨を定めております。上記「サポートダイヤル」に記載の弊社ホームページの「ファンド情報」のページより当ファンドの運用報告書(全体版)を閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

## 《運用経過》

## 【基準価額等の推移について】



第5期首：11,668円

第5期末：12,461円（既払分配金 0円）

騰落率： 6.8%（分配金再投資ベース）

### ■基準価額の主な変動要因

投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界各国の様々な資産に投資を行ないましたが、米ドルが円に対して下落したことや不動産投資信託証券（REIT）の下落などがマイナス要因となった一方、世界の株式、債券が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。組入投資信託証券については、米国株式を主要投資対象とするバンガード・500インデックスファンド、新興国株式を主要投資対象とするバンガード・エマージングマーケットズストック・インデックスファンドなどが大きく上昇しました。

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。なお、分配を見送らせていただいた場合は、分配金再投資基準価額と基準価額は同じとなります。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## 【1万口当たりの費用の明細】

項 目	第5期		項 目 の 概 要
	(2019.12.6～2020.12.7)		
	金 額	比 率	
信託報酬	61円	0.536%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率。期中の平均基準価額（月末値の平均値）は11,449円です。
（投信会社）	(16)	(0.144)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(41)	(0.359)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	0	0.003	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数。売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(0)	(0.003)	
その他費用	8	0.069	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.019)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(5)	(0.040)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（法定開示に係る費用）	(1)	(0.010)	印刷会社等に支払う目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付等に係る費用
合 計	69	0.608	

\* 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

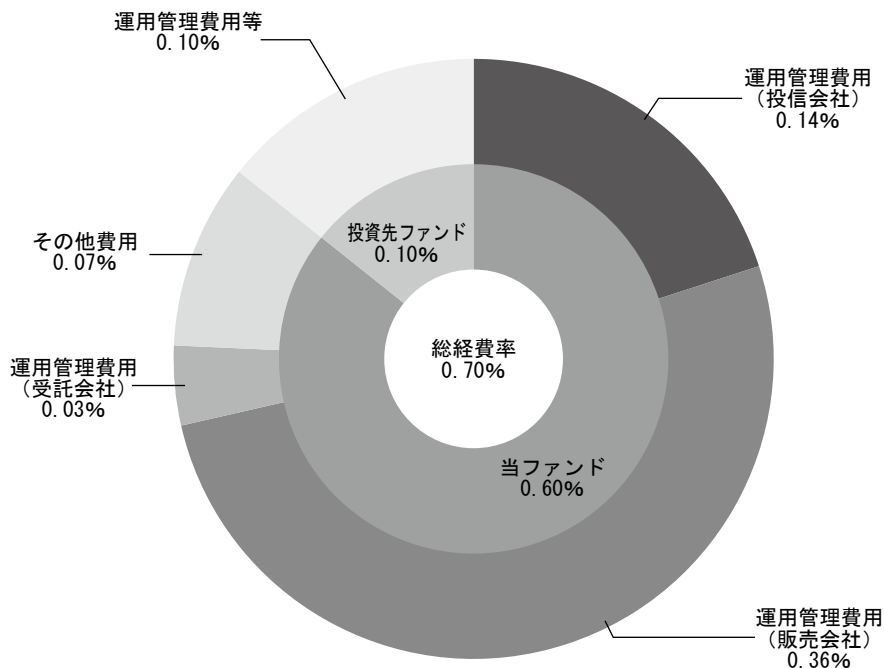
\* 「金額」欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.70%です。



総経費率 (①+②)	(%)	0.70
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.60
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	(%)	0.10

\*①の費用は、1万口当たりの費用の明細において用いた簡便法により算出したものです。

\*各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

\*各比率は、年率換算した値です。

\*投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

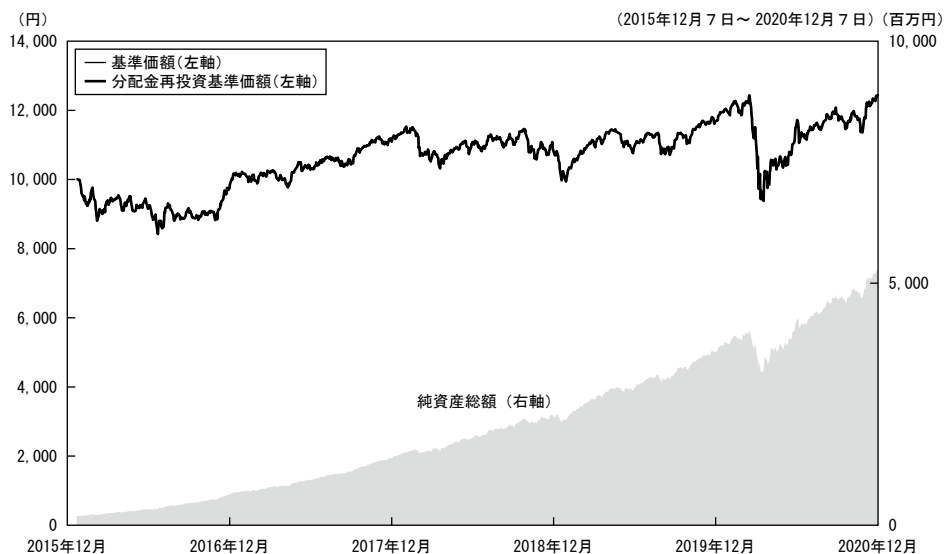
\*①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

\*①の費用と②の費用は、計上された期間が異なります。

\*②の費用は、運用管理費用および運用管理費用以外の合計です。

\*上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 【最近5年間の基準価額等の推移について】



\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
なお、分配実績がない場合は、分配金再投資基準価額と基準価額は同じとなります。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

		2015年12月7日	2016年12月5日	2017年12月5日	2018年12月5日	2019年12月5日	2020年12月7日
基準価額	(円)	—	9,713	11,144	10,857	11,668	12,461
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	—	14.7	△2.6	7.5	6.8
純資産総額	(百万円)	—	625	1,386	2,253	3,573	5,274

\* 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動することを運用の基本方針とはしていないため、該当するベンチマーク等はありません。

\* 当ファンドの設定日は2015年12月28日であり、-印は表示可能な値がないことを示しております。

## 【投資環境について】

### 株式

新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な景気後退が懸念されたことなどから2020年2月下旬から3月にかけて世界の株式市場は大きく下落しましたが、その後は積極的な金融緩和や大規模な経済対策などを受けて堅調に推移しました。新型コロナウイルスの感染再拡大や米国の大統領選挙を巡る不透明感などを受けて調整する場面もありましたが、ワクチン開発の進展などを背景に過去最高値を更新した米国の株式市場に主導されたことなどもあり、期末にかけて主要国の株式市場は上昇基調を辿りました。

### 債券

世界的な景気後退懸念から主要国の中央銀行が積極的な金融緩和を実施したことなどをを受けて米欧の長期国債の利回りは2020年3月に過去最低水準まで低下（債券価格は上昇）し、その後も総じて堅調に推移しました。新興国の国債も当期はプラスのリターンとなりました。

### 不動産投資信託証券（REIT）

都市封鎖や入境規制による影響が懸念されたことなどからホテル、ショッピングセンター、オフィスを中心に米国の不動産投資信託証券（REIT（不動産関連企業の株式を含む））は2020年3月に大きく下落し、その後は緩やかに回復しましたが、前期末比ではマイナスのリターンとなりました。日本、香港、フランスなど主要国のREITも総じて軟調に推移しました。

※上記は、投資対象とする投資信託証券の値動きに基づき記載しています。

## 【ポートフォリオについて】

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界各国の様々な資産（以下、「実質的な投資対象資産」という場合があります。）に分散投資を行なうことを基本としています。実質的な投資対象資産は、日本株式、米国株式、欧州株式、アジア太平洋地域（日本を除く）の株式、新興国株式、日本債券、米国債券、米国短期インフレ連動国債、欧州（ユーロ圏）債券、新興国債券、米国の不動産投資信託証券（REIT（不動産関連企業の株式を含む））、世界（米国を除く）のREIT（不動産関連企業の株式を含む）とし、資産配分は、信託財産の純資産総額に対し株式55%、債券35%、REIT10%を目安としています。また、投資信託証券の投資割合は、原則として高位を保つことを基本としています。

当期は、運用の基本方針に則り、投資信託証券の組入比率は、概ね90%台を維持するとともに、実質的な投資対象資産の資産配分は、株式55%程度、債券35%程度、REIT10%程度で推移させました。日本債券は、期待収益率等を勘案し、投資を行ないませんでした。なお、当期において、投資対象とする投資信託証券の見直しは行ないませんでした。

## 【ベンチマークとの差異について】

当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動することを運用の基本方針とはしていないため、該当するベンチマーク等はありません。

## 【分配金について】

収益分配金（1万口当たり、課税前、以下同じ）については、基準価額の水準や分配原資の積み上がり状況等を勘案し、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し元本部分と同一の運用を行ないます。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	第5期
	2019年12月6日 ～2020年12月7日
当期分配金(税込み)	－円
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	3,057円

- \* 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（評価益を含む）」から分配に充当した金額です。
- また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- \* 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- \* 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 《今後の運用方針》

今後も投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界各国の様々な資産に分散投資を行ない、長期的な信託財産の成長を目指してまいります。実質的な資産配分については、株式55%、債券35%、REIT10%を目安とする方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

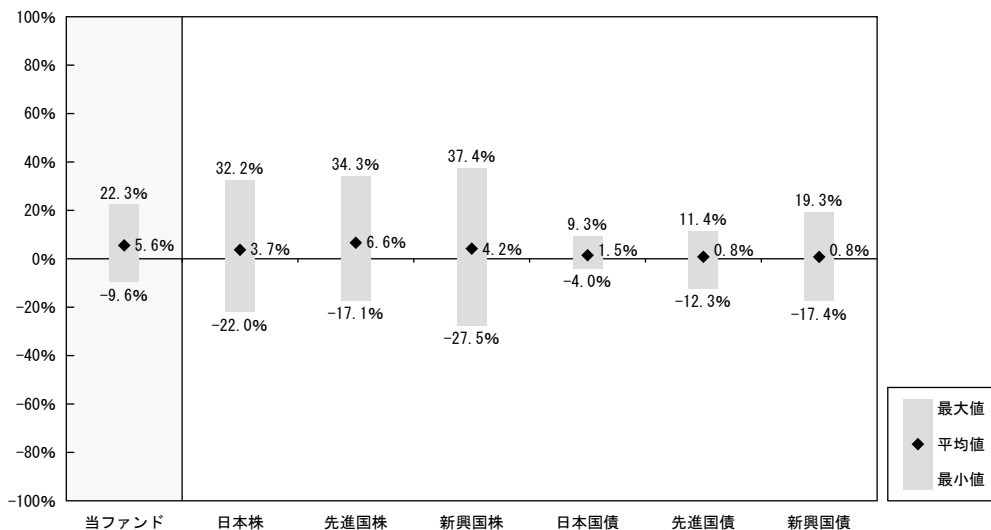
## 《当ファンドの概要》

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限です。ただし、元本金額が10億円を下回った場合などはファンドを終了（繰上償還）させる場合があります。
運用方針	この投資信託は、長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
主要投資対象	主として、投資信託証券（金融商品取引法第2条第1項第10号に規定する投資信託及び外国投資信託の受益証券並びに同項第11号に規定する投資証券及び外国投資証券をいいます。）に投資を行ないます。
運用方法	<p>①主として、インデックス型の投資信託証券※への投資を通じて、実質的に世界各国の様々な資産（以下、「実質的な投資対象資産」という場合があります。）に分散投資を行ないます。          ※インデックス型の投資信託証券とは、各種指数に連動する運用成果を目指す投資信託証券をいい、この投資信託においては、別に定める投資信託証券に限るものとします。なお、別に定める投資信託証券は、実質的な投資対象資産の期待収益率等を勘案し、委託者の判断により変更となる場合があります。          ＊別に定める投資信託証券</p> <p>別に定める投資信託証券は次のものをいいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バンガード・ジャパニストック・インデックスファンド</li> <li>・バンガード・500インデックスファンド</li> <li>・バンガード・ヨーロッパンストック・インデックスファンド</li> <li>・バンガード・パシフィック（日本を除く）ストック・インデックスファンド</li> <li>・バンガード・エマージングマーケットズストック・インデックスファンド</li> <li>・バンガード・ジャパングバメントボンド・インデックスファンド</li> <li>・バンガード・トータルボンドマーケット・インデックスファンド</li> <li>・バンガード・ショートタームインフレーションプロテクトドセキュリティーズ・インデックスファンド</li> <li>・バンガード・ユーロガバメントボンド・インデックスファンド</li> <li>・バンガード・エマージングマーケットツガバメントボンド・ETF</li> <li>・バンガード・リアルエステイト・ETF</li> <li>・バンガード・リアルエステイト（米国を除く）・ETF</li> </ul> <p>②実質的な投資対象資産の期待収益率やリスク水準、投資環境等を勘案した上で投資信託証券の選定及び組入比率の決定を行ないます。</p> <p>③投資信託証券の投資割合は、原則として高位を保ちます。</p> <p>④外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。</p>
分配方針	<p>①毎決算期に収益の分配を行なう方針です。ただし、基準価額の水準や市場動向等を勘案して収益の分配を行わない場合もあります。</p> <p>②分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。</p> <p>③信託財産に留保した収益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行ないます。</p>



## 〈 参 考 情 報 〉

## ◆代表的な資産クラスとの騰落率の比較



・上記は、2015年12月から2020年11月の5年間における1年騰落率の最大・最小・平均を代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドについては過去5年分のデータがないため、算出可能な期間についてのみ表示しています。

・各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBP-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※騰落率は直近前月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

## 《ファンドデータ (2020年12月5日現在)》

### 【当ファンドの組入資産の内容】

#### ■組入(上位)銘柄

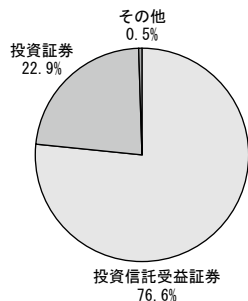
(組入銘柄数:11銘柄)

	銘柄名	比率(%)
1	バンガード・500インデックスファンド	23.9
2	バンガード・ヨーロッパストック・インデックスファンド	13.0
3	バンガード・ジャパンストック・インデックスファンド	10.1
4	バンガード・ユーロガバメントボンド・インデックスファンド	9.7
5	バンガード・ショートタームインフレーションプロテクテッドセキュリティーズ・インデックスファンド	9.6
6	バンガード・トータルボンドマーケット・インデックスファンド	9.6
7	バンガード・エマージングマーケットズストック・インデックスファンド	7.5
8	バンガード・リアルエステイト・ETF	6.6
9	バンガード・リアルエステイト(米国を除く)・ETF	3.5
10	バンガード・パシフィック(日本を除く)ストック・インデックスファンド	3.1

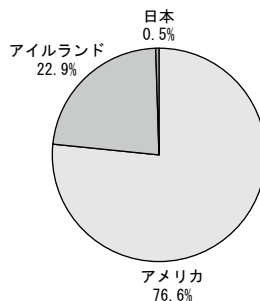
\*比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

\*全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

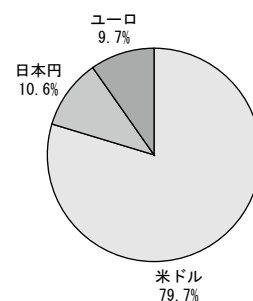
#### ■資産別配分



#### ■国別配分



#### ■通貨別配分



\*比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

### 【純資産等】

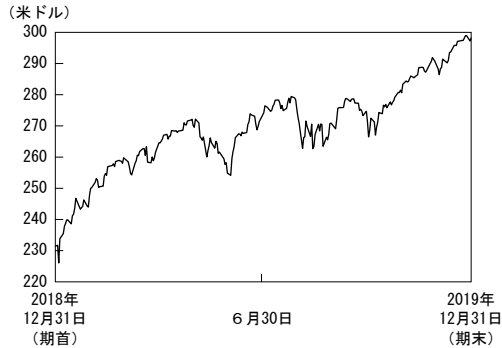
項目	第5期末
	2020年12月7日
純資産総額	5,274,241,755円
受益権総口数	4,232,620,374口
1万口当たり基準価額	12,461円

\*当期中における追加設定元本額は1,303,410,678円、同解約元本額は133,625,242円です。

【組入上位ファンドの概要（2019年12月31日現在）】

◆バンガード・500インデックスファンド（計算期間 2019年1月1日～2019年12月31日）

■基準価額の推移



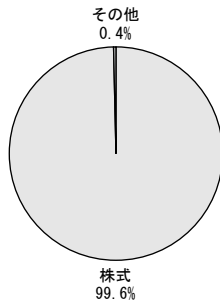
■組入(上位)銘柄

(組入銘柄数：509銘柄)

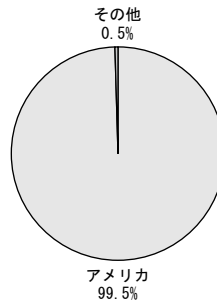
	銘柄名	比率(%)
1	Apple Inc.	4.6
2	Microsoft Corp.	4.5
3	Amazon.com Inc.	2.9
4	Facebook Inc.	1.8
5	JPMorgan Chase & Co.	1.6
6	Berkshire Hathaway Inc.	1.6
7	Alphabet Inc. Class C	1.5
8	Alphabet Inc.	1.5
9	Johnson & Johnson	1.4
10	Visa Inc.	1.2

\*比率は、純資産総額に対する比率です。

■資産別配分



■国別配分



\*資産別配分は、純資産総額に対する比率です。国別配分は、ポートフォリオ全体に対する比率です。  
\*通貨別配分は、取得できないため記載していません。

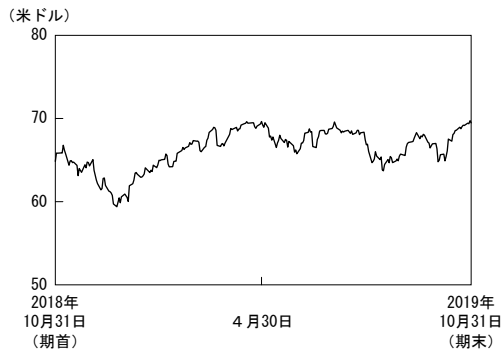
■1万口当たりの費用の明細

直近計算期間末時点における「1万口当たりの費用の明細」が取得できないため記載していません。

## 【組入上位ファンドの概要（2019年10月31日現在）】

◆バンガード・ヨーロピアンストック・インデックスファンド（計算期間 2018年11月1日～2019年10月31日）

### ■ 基準価額の推移



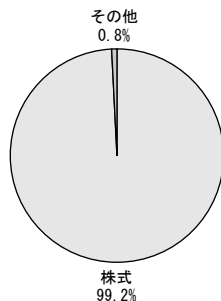
### ■ 組入（上位）銘柄

（組入銘柄数：1,350銘柄）

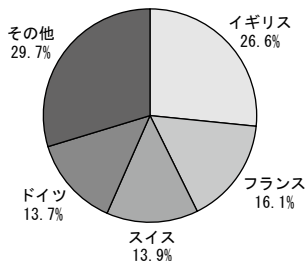
	銘柄名	比率(%)
1	Nestle SA	3.1
2	Roche Holding AG	2.1
3	Novartis AG	1.9
4	HSBC Holdings plc	1.5
5	SAP SE	1.3
6	AstraZeneca plc	1.3
7	TOTAL SA	1.3
8	BP plc	1.3
9	GlaxoSmithKline plc	1.1
10	Royal Dutch Shell plc Class B	1.1

\*比率は、純資産総額に対する比率です。

### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



\*比率は、純資産総額に対する比率です。

\*通貨別配分は、取得できないため記載していません。

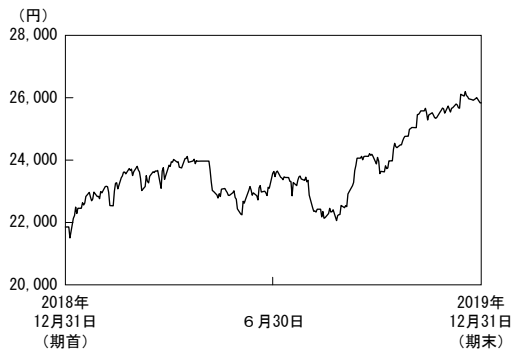
### ■ 1万口当たりの費用の明細

直近計算期間末時点における「1万口当たりの費用の明細」が取得できないため記載していません。

## 【組入上位ファンドの概要（2019年12月31日現在）】

## ◆バンガード・ジャパンストック・インデックスファンド（計算期間 2019年1月1日～2019年12月31日）

## ■基準価額の推移



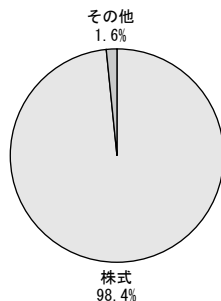
## ■組入(上位)銘柄

(組入銘柄数：324銘柄)

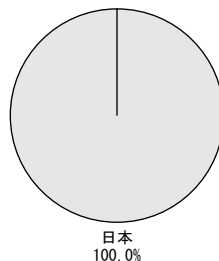
	銘柄名	比率(%)
1	Toyota Motor Corp.	4.4
2	Sony Corp.	2.3
3	SoftBank Group Corp.	1.9
4	Mitsubishi UFJ Financial Group Inc.	1.8
5	Keyence Corp.	1.7
6	Takeda Pharmaceutical Co. Ltd.	1.6
7	KDDI Corp.	1.4
8	Recruit Holdings Co. Ltd.	1.4
9	Sumitomo Mitsui Financial Group Inc.	1.3
10	Honda Motor Co. Ltd.	1.3

\*比率は、純資産総額に対する比率です。

## ■資産別配分



## ■国別配分



\*資産別配分は、純資産総額に対する比率です。国別配分は、株式全体に対する比率です。

\*通貨別配分は、取得できないため記載していません。

## ■1万口当たりの費用の明細

直近計算期間末時点における「1万口当たりの費用の明細」が取得できないため記載していません。